



# 同援だより

2020年 新春号 (184号)



明けましておめでとうございます。

理事長 飯山 幸雄



お願い申し上げます。

昨年は今上天皇のご即位により平成から令和への改元が行われ、新しい時代の幕が開きました。折しもICTの発展発達を中核とするスマート社会の到来が現実のものとなつていく今日、明るい未来への期待が高まってきております。しかしながら夏から秋にかけて重なる台風の襲来により風水害が続発し、多くの方々が被災されました。犠牲になられた方々にお悔やみを申し上げますとともに、被災地の一日も早い復興をお祈り申し上げます。

本会におきましては幸いにも被害は軽微なものに止まり、施設運営・事業実施が滞ることはありませんでした。とはいえ、これを教訓に大規模な風水害や心配されている首都直下型地震に関し、事業継続計画（BCP）の充実と怠りない訓練実施等により、いざという場合に備えておくことの大切さを肝に銘じたところであります。

社会保障につきましては二〇二五年問題、二〇四〇年問題への対応が課題となつております。政府は二〇一一（平成二三）年の「社会保障と税一体改革成案」閣議報告以来社会保障改革に取組みを始め、二〇一三（平成二五）年十二月成立の社会保障制度改革推進法に基づき改革を進めてきましたが、昨年九月、内閣に「全世代型社会保障検討会議」を新たに設置し、一層の改革を進めるための議論を開始し、十一月には有識者ヒアリングを行いました（昨年末に中間報告予定）。本会といたしましては、事業運営をどのような新しい動きにも的確に対応させることができるよう心してまいります。

さて、改めて事業運営の基本的考えとして掲げたいことがあります。それは、「人を大切にする」ということです。これは社会福祉法人にとって当然のことと思いますが、本会に関係する人を大切にし、その幸せを少しでも大きくしていくことを基本としていきたいと存じます。

結びに皆様のご健勝とご発展をご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

### 新任理事挨拶



小林 一己

この度、理事就任にあたり、ご挨拶を申し上げさせていただきます。ご存じます。

東京都同胞援護会との初めての出会いは、三十年程前になります。私が昭島市職員として生活保護行政に携わったときと記憶しています。

当時を振り返ると、本会の職員の皆様が献身的に利用者の対応をしている姿に強い感銘を受けた記憶が甦るとともに、懐かしさも込み上げてまいりました。

さて社会福祉法人は、社会福祉事業を中心として我が国の福祉に大きく貢献してきたことは紛れもない事実です。平成三十年末には、全国で二万を超える社会福祉法人が存在し、法人

数は多少鈍化しているものの、引き続き増加していると伺っています。これからも社会福祉法人の役割は、更に重要となり、付加価値の高い社会福祉事業の提供、そして地域の福祉向上、更には地域福祉文化の醸成に關して大きな期待が寄せられてくるのではないのでしょうか。

このような中、東京都同胞援護会は、設立以来七十年の長きにわたり、様々な活動を通して地域福祉に大きく貢献しています。

特に施設の多くが所在している昭島市の市民にとつて、乳幼児から高齢者まで掛け替えのない存在になっています。それぞれの施設や事業は、利用者本位の視点に立ち、利用者の多様なニーズに 대응する創意工夫のある福祉サービスを組織的に提供し、利用者の生活の質の向上に努めています。

元号が令和となりましたが、引き続き東京都同胞援護会は、基本理念に基づく基本方針に則り、地域福祉の拠点として地域社会との連携のもと、個々の施

設と協働し、より良いサービス提供を追求していただきたいと思います。思っています。

このような本会の事業展開に微力ではありますが、取り組んでまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

### 森谷理事の

### ご退任に当たって

森谷順蔵理事には、平成二十四年十月から六年八ヶ月の長きに亘り、業務執行理事として当会の業務運営に的確なご指導を賜り、当会の発展向上に多大のご尽力をいただきました。

ご就任中には、社会福祉法人の制度改革が行われましたが、その改革の趣旨に則り、本法人経営の充実とガバナンスの強化を牽引されるとともに、原町高齢者複合施設の開設をはじめ、大山保育園改築、立川福祉作業所改築、同援はいじま保育園開設、昭島市では初

となる二十四時間対応型訪問介護を併設した昭和郷高齢者複合施設の開設、障害者グループホーム「風のね」開設を推進されるなど、当会事業の転換期の中にあつて多大な功績を上げられました。また昭和郷の地元昭島市と本会との絆がより強固なものとなるよう、陰になり日向になり様々なご援助をいただきました。

このたび当会理事を退任されるに当たり、これまでのご功労に同胞援護会をあげて感謝申し上げますとともに、今後のさらなるご健勝をご祈念申し上げます。本当にありがとうございました。



## 電子カルテ導入

昭島病院 泌尿器科部長 医師 小林 堅一郎

二〇一九年八月十三日より電子カルテによる診療を開始しました。電子カルテ導入にあたっては数年にわたり準備を進めて来たところです。使用機種の選定から始まり、各職種から色々な委員会を立ち上げ、システム作りなどを行い、また各部門の調整を念入りに行いました。従来のオーダーリングシステムからより円滑な移行を目指して準備を進めて来ました。二〇一九年七月以降は実際の運用にあたり病棟、外来での模擬患者を通して複数回のリハーサルを全職員で行いました。また、導入直後の診療混乱を最小限にするべく外来患者の予約制限や院内での案内の強化など、様々な対応策を講じてきました。そのような経過の中、患者様にはご迷惑をおかけしたことを思います。運用開始から三ヶ月経た現在ではおおよその業務は滞りなく行



えているものと思います。電子カルテは紙カルテと比較してデータ保管の簡便性、記載内容の明瞭性（個人的には名高い悪筆のためカルテ記載内容の判読で皆様にご迷惑をおかけしてしまいました）、閲覧性等において明らかな有用性があると言われております。実際に電子カルテ導入後の診療は、書類記載等の

雑務に割く時間が縮小され、病状の説明、問診により多くの時間が割り当てられるようになり、より良質な医療が提供出来るようになった印象を持っています。また、紹介状作成など利便性も高く、より効率的な診療につながっております。

一方で記載内容の閲覧が容易に可能なため、表現内容に注意する必要があると思われれます。他にも診療内容、指示、処置の融通性、停電によるシステム停止、コンピュータウイルス、不正アクセスなどの保安リスクに問題があるため、運用にあたってはそうした問題点を適宜改善する必要があります。そうしたことを念頭に電子カルテの有用性を伸ばしながら、より良質な診療につなげたいと考えています。

導入にあたりシステム作成に携わった関係者の皆様、リハーサルに模擬患者としてご協力戴いた皆様にこの場を借りて厚く御礼申し上げます。併せて導入当初に、受診された皆様には不自由を感じさせた点もあるかと思いま



す。この場を借りておわび申し上げます。この場を借りておわび申し上げます。

個人的経験では電子カルテ導入時に常勤医として勤務していたのは昭島病院で4施設目ですが、最も円滑に導入が行われていたものと思います。電子カルテ導入はより効率的な診療を目指すための一つの手段であり、皆さまにとっては今まで以上に質の高い診療に繋がるものと考えています。今後も御指導、御助言の程、宜しくお願い申し上げます。

2019年度 ソウエルクラブ 海外研修に参加して

Aコース

児童・障害コース

令和元年十月二十三日〜十月三十日

双葉園 主任 江田 祐子



ドイツの保育園

私が訪れたドイツのフランクフルトの託児施設は、一歳〜六歳が対象で、一つの建物の中に保育園と幼稚園がある施設でした。そこでドイツの子育てや教育のシステムを聞くことができました。ドイツでは、〇歳から三歳までが保育園、三歳から六歳までが幼稚園に通います。また、小学生は

十歳までが対象で、四年制です。州ごとに文科省があり、カリキュラムも休日の日数も異なるそうです。

三歳から利用できる幼稚園は、すべての子どもに籍をおく権利があり、住んでいる地域でなくても自由に場所を選択できるとのことでした。どの幼稚園も障害児を受けなければならない決まりになっており、障害児のみ対応する施設はフランクフルトでは一か所のことでした。

小学校では、州の義務として児童数分の籍を確保する施設を作らなければならず、クラスの定員は、国基準で一クラス二十五人ですが、私のいったフランクフルトでは二十一人でした。

働く人たちは、週三十九時間勤務であり、ほとんど残業はせず、子どもや家族と過ごす時間をとても大切にしています。育児休暇も、一年間あり、両親ともに三年の期間内に各家庭の事情に合わせて自由に取得できるシステムになっています（例えば、一年目に半年、二年目に三ヶ月、三年目に三ヶ月等）。給料に関しても全額支給さ



ドイツの託児施設にて

れる形になっていきます。

就職については、小学生の時から将来どんな職業に就きたいか検討しておくことが必要で、幼い頃から自主性や自己肯定感を培うための取り組みを行っているそうです。システムのには、その分野の職業訓練学校に三年間通うこととなります。例えば、保育士として働きたい方は、保育園と契約して週三〜四日実習生として働き、あとの一日〜二日、通学することになります。三年の訓練終了後に国家試験を受け資格を取得し、晴れて就職となります。他の職業に就きたい時は、職業訓練校に入り直し、三年間同じように訓練をうけた後、国家試験を受ける形になります。かなり日本と制度が異なります。驚きましたが、きちんと意思を持

ち三年間現場で働いて就職する事は、とても魅力的に感じました。

一方、オランダでは、〇歳から四歳が保育園に通い、四歳の誕生日を迎えると小学校に入学し、学童にも通うこととなります。私が訪れた保育園は、学童も併設して運営しており、一貫して子ども達の成長をみているそうです。ドイツ同様に子どもの自主性を尊重し、「成長の場所」をモットーにしているそうです。食事時間や午睡時間も全員一律ではなく、その子どもが食べたい時に食べる、眠くなったら寝るようにしています。園庭にお昼寝用の小屋があったのがとても印象的でした。

働く人たちは、週に二十七〜三十六時間勤務、三〜四日の勤務であり、ワークライフバランスをとっても大事にしているそうです。育児休暇は、日本とほぼ同じですが、父親は一週間の育児休暇に加え、週一日は仕事を休み、子ども



お昼寝用の小屋

とともに過ごす習慣があるのとこのことです。子どもは、週に三〜四日保育園に通いますが、それ以外は、両親とともに過ごすとのこと、家族の時間をとても大切にされています。

最後に、各施設でのシステムや国や州での違い、携わる方の思い等、沢山勉強して頂くことが出来ました。また、一緒に研修に行った全国各地の職員の方やソウエルの担当者の方とも情報交換ができて、頑張っている仲間が全国に居ることを実感出来ました。行く前は、仕事が大変な時に海外研修なんて：:と思っていました。が、参加させて頂いたことで、今後も視野を広げ前向きに取り組んで行こうと思うことが出来ました。ありがとうございました。

### Bコース 老人福祉コース

令和元年十一月十三日〜十一月二十日

原町ホーム

副施設長 浅見 友博

研修日程としては、前半の四日間をオランダの障害者・高齢者福祉施設、後半の四日間をドイツの高齢者福祉施設を視察するといっ



オランダの高齢者施設の施設長さんと

た内容でした。

オランダでは、障害者施設、高齢者のグループホーム、ケア付き高齢者住宅等を見学させて頂きました。国家が主に福祉を供給するよう制度設計がされているオランダでは、経済的な貧富の差に関係なく平等なサービス提供を目指すことが特徴であり、『医療保険』『介護保険』『社会サービス法』といった制度を中心として高齢者・障害者双方を対象としたサービスを提供しています。

見学した障害者施設では、障害者と認知症高齢者を対象にした『スヌーズレン』という作業療法を提供しており、日本で行っている作業療法とは一線を画するものでした。スヌーズレンとは、視覚・聴覚・嗅覚・触覚といった感覚を直接刺激する装置を用いて感覚刺激空間を作り、対象者の生活の活性化を図ることを目的としたケアをいいます。実際に見学した『スヌーズレンルーム』では、薄明かりの中で光や音、温度、触覚に配慮した

装置が並ぶ一種独特な雰囲気がありました。初めて経験した雰囲気ではありましたが、そこを利用する利用者の表情は皆穏やかであり、私自身も空間自体を大変心地良く感じました。

ドイツでは、高齢者福祉施設を二ヶ所見学させて頂きました。家族が主に福祉を提供するよう制度設計がされているドイツでは、国は補完的な役割を担っており、基礎的介護を保障しています。また、最近の状況として、移民問題による財政の圧迫と旧東西ドイツの経済格差等、いくつもの課題から国としての複雑な側面を覗かせていました。

訪問した高齢者福祉施設では、国内でも先進的な取り組みをしている施設であり、施設内の高齢者へのライフオリテイの見直しや経営面での課題について、いくつかの大学と共同研究を行っている



「スヌーズレン」について話を聴いています



オランダの高齢者施設にて

という点が非常に印象的でした。また、国内の七割がキリスト教徒であるドイツ人にとって、精神的なケアと宗教問題は切り離せない部分と言われています。見学した施設内にも礼拝堂があり、その内部には全体を見渡せるカメラが設置してあり、礼拝に参加できない高齢者は居室内のテレビで見られるようになっていたり等、生活習慣に根付いたきめ細やかなケアも非常に興味深いものでした。

今回の貴重な研修で学んだことを今後の施設運営や利用者支援に活かしていきたいよう、今まで以上に研鑽を続けていきたいと思えます。最後に、お忙しい中、快く研修に送り出してくれた法人、原町ホームの職員の皆様に心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

## 外国人技能実習生を 受け入れて

フジホーム

生活相談員 福島 洋一

技能実習制度とは、「日本の技能や技術を発展途上地域などへ移転し、その地域の経済発展に貢献する」という国際協力の推進を目的としています。外国の方と雇用契約を結び、実際に働き、出身国において身につけることが困難な技能等の習得・習熟・熟達を図るもので、期間は最長五年とされています。

又、基本理念として、「技能実習は労働力の需給の調整の手段として行われてはならない」としています。あくまで技術移転であって、労働力不足の解消を目的としてはならないのです。しかし、近年では悪質な業者による残業代の未払いや、最低賃金以下の賃金で労働させるといった事例も起きていて、失踪する実習生が現れるなど社会問題として日本のメディアでも取り上げられています。このような問題が起きる背景には、雇用者の

技能実習制度への理解があまりに不足していることや外国人への軽視があるといえます。そして実質的に労働力確保がその目的となってしまうことが大きな問題といえます。技能実習制度を利用する雇用者は、そのことをしっかりと認識し、覚悟をもって実習と雇用をしなければなりません。

一方では、技能実習生を受け入れるに当たり、介護技術だけを教えればそれで良いわけではありません。日本で生活するた



めに日本の文化やマナーについて知ってもらうことも必要です。例えば昭島市ではゴミ出し一つとっても分別によって曜日や時間が決まっており、指定されたゴミ袋に入れて出さなければなりません。私たちが当たり前のようにやっていることですが、今まで暮らしていた環境とはまるで違うため、そういうことも教えていかなければなりません。

このようなことを踏まえフジホームでは、受け入れ時に生活に必要な情報、スーパーや銀行、駅、病院の場所などを記した手作りの地図を作成しました。体調不良時は、嘱託医師にまず相談してもらうなど、生活するうえで、不安に思うことを少なくしていくことで、介護業務に集中してもらえるように配慮しました。

そうした準備を終え、フジホームでは十月に待ちに待った外国人技能実習生をベトナムから三名、迎え入れることができました。三人とも二十代の女性で、タイビン医科薬科大学を卒業しています。来日する前に、彼女たちとインターネットによ

る面接をしたのですが、「日本に来たら、まず何をしたいですか?」と聞いたところ、「富士山を見てみたい」「新宿に行ってみたい」などと答えていました。「心配な事はないか?」と伺うと、「住む場所がどういう所なのか心配」「インターネットが使える環境なのか心配」という声が聞かれました。彼女たちの話からは、まったく新しい環境に旅立つというワクワクした気持ちと、異国に出てやりたいけるのだろうかという思いが感じられました。皆、希望と不安を同時に抱えながら入国したようです。

初日に歓迎のセレモニーを行いました。ささやかなおもてなしをし、皆さんが快く働いてもらえるように歓迎しました。フジホームの普段の様子をスライドで紹介し、職員がどのように働いているのか、利用者さんはどんな生活をしているのか、見てもらい、その後それぞれの方に挨拶をいただきました。一生懸命日本語で挨拶してくれましたが、表情はやはり不安そうでした。「日本という国で働いていけるのだろうか」「日本の人たちに受

「け入れてもらえるのだろうか」というような思いがくみ取れました。ただ、打ち解けるにつれ、笑顔でしっかりと話をしてくれて、今どきの日本の若者と、何ら変わらない印象でした。

技能実習生の方々は勤務を始めてから、少しでも多くのことを吸収しようと積極的に利用者や職員と接している姿勢が伺えます。レクチャーを聞く表情も真剣そのものです。その姿勢や意欲は、私たちも見習わなければならぬと、逆に多くのことを気づかせてくれます。現在では基礎的な業務を身に着け、十二月からは早番、遅番などの変則勤務に入っています。

又、日ごとに利用者と笑顔で話しをする機会も多くみられるようになってきました。その姿を見て、介護の仕事の根幹は、やはり人と人との関わりや信頼関係を築くことであると改めて感じました。それは、国境を越えて築いていけるものです。これからもお年寄りが笑顔で生活できるように、外国人技能実習生を通して、私たちともに成長していきたいと思います。

自己紹介



ハー・キエウ・アインさん

初めまして、アインと申します。親の手を離れて遠い国へ来て、不安に感じることもありましたが、職員の皆さんが生活する環境を整えてくれて、仕事もやさしく教えてくれるので、段々と日本での生活にも慣れてきました。今はまだ仕事をうまくできませんが、最善を尽くします。いつもお世話になり、ありがとうございます。

こんにちは。ニユンと申します。フジホームに来るのは私にとって大きな岐路です。最初は少し心配し、緊張もありましたが、フジホームの皆さんに親切に、仕事を教えていただきました。少しずつ慣れてきました。心から皆さんに感謝しています。



レー・ティ・トゥ・ニユンさん

皆様こんにちは。トーアと申します。最初は新しい仕事、新しい環境で、心配していました。フジホームの皆さんはとても優しく教えてくれます。ときどき仕事の間で間違えてしまい、ごめんなさい。一生懸命勉強して、働きます。いつも応援してくれて、本当にありがとうございます。



ヴ・ティ・キム・トーアさん

し  
せ  
じ  
通  
信

◆ 大山保育園 ◆

幼児組になると毎月クッキングを行なっています。その中でも五歳児ゆり組は毎年『赤の食品群』をテーマにしてメニューを考えます。五月には旬である鯛を使用したクッキングを行ない、子ども達が開きを体験しています。一人一匹ずつ鯛を用意し、テーブルに新聞紙を広げて準備をします。実際にお店に売っている鯛は見たことがあっても手開きを体験した事のない子が殆どです。この体験をする前に【命の大切さ】や【命を頂くという事】について話をしているので、内臓や血が出てきて驚く姿もありますが嫌な顔をせずに最後まで取り組んでいました。中には「内臓はどれだろう」「骨はこんなにたくさんあるんだね」と身体の部位も気になる子もいました。開いた鯛はその年により、蒲焼にしたり、つみれ汁を作ったりメニューは違いますが、この体験を通して普段何気なく食べている食材を大切に食べようという気持ちも育っている様で



(茨木 記)

す。また、冬には栄養士が鮭を丸ごと一匹使って、解体ショーをしています。まず初めに驚くのは鮭の大きさです。スパーで売っている切り身のイメージしかない子ども達は「鯛よりもこんなに大きいんだね」と興味津々。うろこを取ったり出刃包丁を使ってさばく姿には皆、夢中になります。中には「かわいそう」と言う声もありますが、「皆が大きく育つために生き物はこうして料理になっていくのだから大切に食べよう」と話しています。年に二回の貴重な体験は今後の子ども達の糧となっていくので、これからも食と命の結びつきを伝えていきたいと思えます。

◆ ニューフジホーム ◆

昭和五十六年に開設したニューフジホームは現在三十九歳。もうすぐ四十歳となります。

時代の中で施設を取り巻く状況は目まぐるしく変わっています。ですが、介護が必要な状態となった方々に、施設での看取り介護も含めて、最期まで安心してその人らしく生活していただきたいとの思いで日々、職員一同介護に向き合っています。

法人内には特養が五つありますが、それぞれに雰囲気や特色があります。ニューフジホームは、一〇〇人定員、全て多床室でほぼ四人部屋、各フロアは縦に長く、二階には六十人以上の方が入所しています。職員は長く働いている方が多く、ボランティアも十年以上続けてくださっている方が多くいます。長く関わっている方が多いということで、お馴染みの顔ぶれによる安定感が生まれ、それはニューフジホームの大きな強みになっていくと思います。福祉業界は離職率が高いと言われているので、長く働き続けてくれるのは有難いことです。ただし、いつまでもそのような状況が続く

同 援 俳 壇

昭島荘道句会

山茶花や  
肩を寄せ合い 散歩道  
大根や  
味わいながら 母思う  
柿食べて  
元気になる 私かな  
お祝してる 七五三  
神 きぬゑ  
やわらかな  
小春日和に 君を待つ  
冬野菜  
産業祭の 棒げもの  
河内 通子  
初時雨  
長男来ては やむ夕べ  
華やかな  
七五三にも とげがある  
関根 喜代子



訳ではないので何かしらの工夫が必要です。ここ数年、育児中の職員、出産を迎える職員等が増えており、勤務体制の調整、新規職員の採用の工夫などに取り組み、ニューフジホーム独自の働き方の改善に取り組んでいます。

その甲斐があつてか、昨年から結婚や出産などで離職した方を新しい職員として迎えることができました。努力して資格を取得しても、出産や育児、身内の介護などで離職し、再就職ができず、埋もれてしまっている方にとって働き易い職場環境こそが大切だと思ひ、これからも「ここで働きたい」、「働き続けたい」と思つて頂けるよう取り組んでいきたいと思ひます。仕事の充実感もそうですが、長く働ける環境づくりを益々考えていきたいと思ひます。(大塚 記)



◆さいわい福祉センター◆

東久留米市立さいわい福祉センターの開所は一九九六年なので設立二十三年になりました。この間、多くの地域の方々に見守られ支えられながら、東久留米市障害福祉サービスの中核を担つてきました。必要な方々にサービスを提供しながら、地域に向けての情報発信として「バリアフリー映画会」「見えない・見えにくい方への便利グッズフェア」「IT機器展」などを実施し、障害者理解につながるような取り組みをしています。

そして今回、東京オリンピック・パラリンピック開催に先立ち「車いすバスケット大会」を企画し、障害者スポーツの理解と普及、市民との交流を図りました。

北風の吹く寒い一日でしたが、スポーツセンター体育館は熱気に包まれました。アテネオリンピックの出場経験者を含む車いすバスケットボール選手三名を迎え、競技の特徴やルール説明、激しくぶつかり合うディフェンスや転倒してもすぐに起き上がるスピーディーなプレーのデモンストレーションに皆さん釘付け!!地域の小学生を中心に約八十名の方が参加

をし、待ちに待った体験会が始まりました。車いすの操作方法を学び、パスやシュート練習、車いす鬼ごっこを経て、最後にはミニゲームができるほどになった子供たち。「シュートが入つてうれしかった」「難しかったけれど楽しかった」「選手がかっこよかった」等の感想が聞かれました。興味と関心を持つて障害者スポーツに取り組み、そこから相互の関りが生まれ、障害のある方もない方も共に暮らす世の中を目指した取り組みの第一歩になったと思ひます。



(茂木 記)

万世敬老園

俳句クラブ

秋祭

遠間に聞こゆ 太鼓かな

あの月を

とれと幼に おきな せがまるる

一〇〇代 女性

子は母に

抱かれて見やる 紅葉か

赤々と

熟れし林檎を つま 夫にあげ

八十代 女性

大根は

生でも煮ても おいしいね

八十代 女性



# わたしの夢

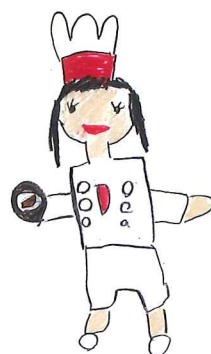
## ◆ 昭和郷保育園 ◆

けいさつかんになって、パトカーにのりたい。(ゆっき)

おいしゃさんになって、びょうきのひとをなおしてあげたい。(ひまの)

ようぶくやさんになって、かわいのおよぶくをのりたい。(のん)

まほうつかいになって、そらをとびたい。(あおい)



ケーキやさんになって、チョコケーキをつくりたい。(さやか)

こうじをするひとになって、クレーンしゃにのりたい。(さゆ)

けいさつかんになって、しばいでわるいひとをおいかけつつかまえたい。(ゆう)

ペットやさんになって、いろいろなどうぶつのおせわをしたい。(ことね)

しいくいんになって、シャチのショーにでたい。(たけと)

けいさつかんになって、どろぼうがいなかパトロールしたい。(みつは)

えほんさっかになって、みんながたのしくなるようなえほんをつくりたい。(かの)

はいしゃさんになって、みんなのはをなおしたい。(ゆのん)

きょうりゅうはかせになって、せかいじゅうのかせきはっけんしたい。(ゆうだい)



むしはかせになって、せかいじゅうのむしをけんきゅうしたい。(いおり)

おすしやさんになって、おいしいおすしをかそくにたべてもらいたい。(けいこ)

ぼうしやさんになって、みんなをしあわせにしたい。(みゆ)

ケーキやさんになって、ケーキをつくりたい。(ゆあ)



フラダンサーになって、ひとりでステージでおどりたい。

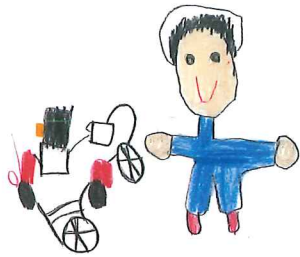
(あんな)

ママみたいになって、おいしいごはんをつくりたい。

(あいな)

パンやさんになって、おいしいカレーパンをつくりたい。

(さき)



けいさつかんになって、しろばいのりしたい。

(ひかる)

◆ 同 援 は い じ ま 保 育 園 ◆

こんちゅうはかせになってテレビで、おかねもちになりたい。

(ゆうひ)

フロントミラーシユになって、ひとをたのしませたい。

(みなみ)

おてんきおねえさんになって、みんなにてんきをしらせてあげたい。

(みおり)



こんちゅうはかせになって、テレビにでたい。

(こうせい)

くるまやさんかびょういんのせんせいになって、たくさんのひとをたすけたい。

(ようすけ)

こんちゅうはかせになって、いろんなひとにむしのなまえをおしえてあげたい。

(まさこ)

おいしゃさんになって、ちゅうしゃをうってあげたい。

(ひなた)

パトカーのうんでんしゅになって、スピードいはんをするひとをつかまえたい。

(じん)

おかねもちになって、アイスをとるひとをつかまえたい。

(かずは)

けいさつかんになって、わるいひとをつかまえたい。

(りんか)

かわいいアイドルになって、たくさんおどりたい。

(みや)

サッカーせんしゅになって、キーパーをしたい。

(たいき)



ご支援ありがとうございました（敬称略順不同）

ご 寄 付

清水あき子 山内悦 小林一江 矢部文子 下田初穂 吉田寛子 森岡正代 宮永満子 小野幸雄 郡司友信 昭島市自治会連合会 第四ブロック ブロック長 中里 恒夫 都営中神第二団地自治会 会長 八櫛定夫 イトーヨーカ堂 労働組合 新宿富久店 杉並区 高円寺地区 民生児童委員協議会 ㈱やまとモータース ㈱ラッコ クリーンサービス 代表取締役 佐々木憲寅 (福) 東京リハビリ協 会 水村肉店 ㈱ネオ・ハルト 代表取締役 南浩一 昭島ガス 代表取締役 平畑文興 (有) 北川 商店 北川穰一 ㈱橋本工務店 代表取締役 橋本誠一 昭島サン セルフ 高野裕志

後 援 会

磯野輝夫 青木保之 高仲智子 高木基代乃 青木薫 幡野信子 原町三丁目町会 会長 土屋勝 宮澤民雄 木村伊三夫 山内悦 南雲栄一 大橋政照 鮫島恭江 中村定徳 内田祥二 昭島サン セルフ 高野裕志 ㈱シヨールワ ㈱原島組 代表取締役 原島和敏 ㈱ネオ・ハルト ㈱風間造園 ㈱

代表取締役 風間脩一 ㈱共伸イ ンテリア ㈱ワンダー東京 多摩 営業所 ㈱石塚家具店 田中青果 店 田中潔 ㈱ミヤギ 大山町会 会長 松野榮仁 (福) 森の会 広域地域ケアセンターバオバブ 浦野工業 代表取締役 浦野静 夫 (有) 海老山 河原照文 昭和の 森 エリア サービス ㈱スマイルケア 昭和の森 ㈱ハーティーマネー ジ メント 代表取締役 阿部博一 昭島ガス ㈱東京厚生信用組合本 店 長崎三丁目町会 会長 足立 憲昭 ㈱ケイエス機材 (福) 賛育 会 理事長 小堀洋志 ㈱フソ 東京冷機工業 ㈱増田コーポ レーション ㈱ミートショップの 鈴政 下坪唱三 国立厨房サービ ス 代表取締役 藤原章太郎 加藤商事 ㈱ (有) とう教材社 代 表取締役 伊藤浄堯 ㈱豊明 五嶋造園 ㈱昭和造園 唐澤電気 ㈱ 代表取締役 小林利美 (医) 美永会 美住クリニック 村山苑 キューセイモア 水村肉店 水村豊 ㈱菊屋商店 代表取締役 宮崎貞夫 ㈱金祥堂 紙販売 マツダドライサービス 戸山商事 ㈱ (有) 肉の高 創洋紙 商事 代表取締役 中屋守敏 ㈱サン・ホワイト ㈱木の里 房 木薫 代表取締役 國里哲也

祝表彰・感謝状受賞者

多年の功績に対し、次の方々が表 彰されました。 おめでとうございます。

◎ 豊島区社会福祉事業 功労者表彰 ゆたか苑

介護支援専門員 庄司 早苗 管理栄養士 小野木紀子

◎ 知的障害者福祉事業 功労者表彰 さやま園

生活支援員 小川 里美

◎ 全国救護施設協議会 会長表彰

昭島荘 主任生活指導員 村山 公児

◎ 東京都社会福祉協議会 会長感謝状

昭島荘 主任生活指導員 村山 公児 生活指導員 仁和 智美

雑 感

あれだけ好きだった読書をしな くなって久しい。かつては常に小 説、趣味の本、仕事の本と三冊を 必ず鞆に入れていたのに。暇つぶ しは古本屋、という時期もあった。 現在は活字離れというよりは読む

媒体が紙から液晶画面になったこ とが大きく、且つ小説のような長 文よりテーマごとの読み物が対象 となった感じである。また重い文 章より肩の力が抜けるような文章 を読むことが増えたような気がす る。好奇心が衰えてきたのか？読 む体力が落ちたのか？いや単純に 疲れているのかな？とマイナス の思考が続くと、団塊ジュニアの 第二次ベビーブーマーのひとりとして、一念発起して本を読もう！ とも思うのだが、明くる日は往々 にして忘れていく。ちなみに我が 子は今時珍しく、よく新聞を読む。 まずは子を見習い、新聞をよく読 むようにしようと思う。

この文章を書いている秋の夜長、 そんなことをふと思った。

(万世敬老園 山口 記)

―表紙の写真―

「立山 室堂平にて」

(企画部 南山京子氏)

令和二年一月一日 発行  
東京都新宿区原町三の八  
電 話 〇三(二三三四)七六一  
社会福祉法人 東京都同胞援護会  
発行者 飯 山 幸 雄  
印刷所 東京都同胞援護会事務局  
東京都墨田区両国四一―八  
<http://www.doen.jp/>